

## 松江市・大口市姉妹都市提携調印式 式辞

本日ここに、「松江市・大口市姉妹都市提携調印式」を執り行うに当たり、公私ともにご多用のところ、多数のご来賓のみなさま方にご臨席をいただきましてまことにありがとうございます。また、大口市のみなさまには遠路はるばるお越しいただき、重ねて御礼を申し上げます。

この度、愛知県丹羽郡大口市と姉妹都市の提携を行うことができました。これもひとえに、ご臨席の皆様方の温かいご高配と、市民、関係者のみなさまのたゆまぬご努力の賜物であると、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、本市では去る七月八日、市民をはじめ関係者のみなさまの切なる願いが現実のものとなり、松江城の国宝指定が決定いたしました。これを好機と捉え、松江城を築城し、江戸時代から現在に至る松江のまちの基盤をつくりあげた「松江開府の祖」堀尾吉晴公の生誕の地、大口市との姉妹都市提携に至ったわけでございます。まさに吉晴公に結んでいただいたご縁と申し上げてよいのではないかと思います。そこには、これまで城の石垣を積むように重ねられた民間の交流があったからこそと、今この場であらためて強く感じているところでございます。

昭和三十三年の設立以降、堀尾史蹟顕彰会のみなさまには、堀尾金助の物語の伝承や堀尾氏供養塔の建立など、顕彰事業に取り組み、本市で行われる松江神社の例大祭や圓城寺の堀尾祭に毎年ご参列いただくなど、民間の交流が行われていました。また、平成八年には、大口市の丹羽ライオンズクラブと本市の湖城ライオンズクラブが姉妹クラブとなり、記念事業としての中学生のスポーツ交流がこちらでも行われていました。

今から八年ほど前の平成十九年は、吉晴公が松江でまちづくりに着手してから四〇〇年に当たる年でした。開府四〇〇年を祝うとともに未来に向けた新たな飛躍を目指して、松江城の築城に費やした五年という歳月に倣い、平成十九年度からの五年間を「松江開府四〇〇年祭」と銘打って、様々な取り組みを行いました。先に述べた堀尾史蹟顕彰会や丹羽ライオンズクラブとの交流も、この四〇〇年祭を契機として一層盛んになり、松江城国宝化に向けた署名活動や吉晴公の銅像建立の際には多大なるご協力を賜りました。国宝化への後押しに繋がった取り組みに、この場をお借りし改めて感謝と御礼を申し上げます。

未来に向けたまちづくりと、まちづくりの担い手やもてなしの心にあふれるひとづくりをテーマに取り組んだ四〇〇年祭をきっかけとして、それまでの交流の活発化や取り組みの輪が広がりを見せ、姉妹都市提携という新たな形が本日ここに生まれました。昭和三十年代より工業誘致をすすめられ、工業と農業が共存する自立したまちとして見事に発展を遂げられている大町と、これから産業、歴史、文化、教育など様々な分野で交流・連携を図っていくことは、必ず本市のまちづくりやひとづくりに繋がっていくものと確信しております。歴史的に繋がった両市町の間を更に発展させ、五十年後、一〇〇年後の両市町に新たな結び付きの強まりを感じ取ることができるよう取り組んでまいります。

結びにあたりまして、本日、式典行事に参加いただいたすべてのみなさま方のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。松江市・大町姉妹都市提携調印式の式辞といたします。

平成二十七年八月二十九日

松江市長 松 浦 正 敬